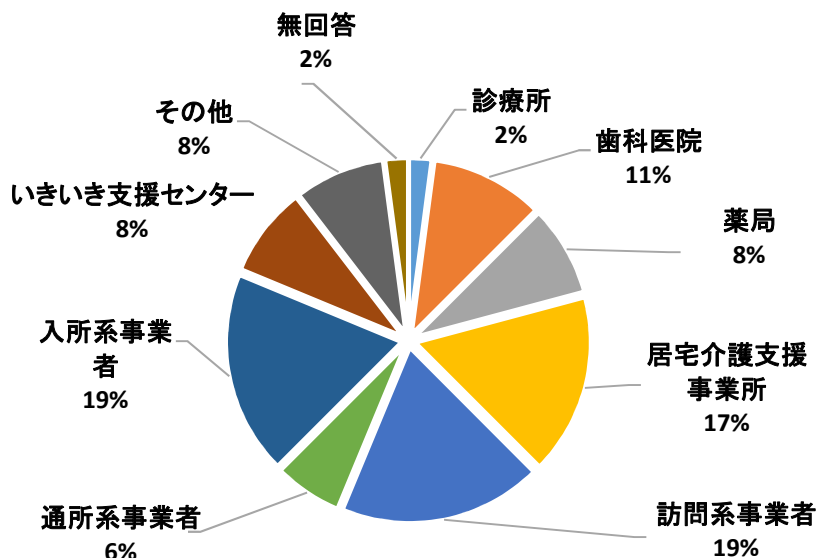


平成29年度 第5回 多職種連携研修会「地域包括ケア研修会」アンケート集計

研修参加人数	48 名
アンケート数	45 枚
アンケート回収率	94 %

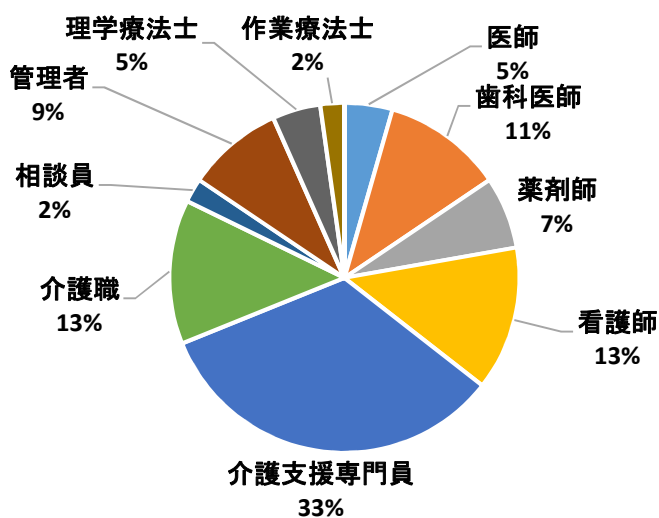
アンケート回答者の所属

問1	診療所	1
	歯科医院	5
	薬局	4
	居宅介護支援事業所	8
	訪問系事業者	9
	通所系事業者	3
	入所系事業者	9
	いきいき支援センター	4
	その他	4
	無回答	1
	計	48



アンケート回答者の職種

問2-1	医師	2
	歯科医師	5
	薬剤師	3
	看護師	6
	介護支援専門員	15
	介護職	6
	相談員	1
	管理者	4
	理学療法士	2
	作業療法士	1
	その他	0
	計	45



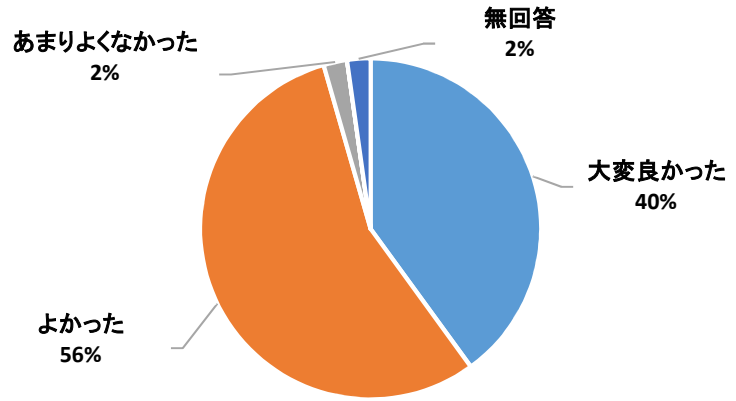
アンケート回答者の経験年数

問2-2	1～3年	6
	4～6年	3
	6～10年	11
	10～20年	9
	20年以上	12
	無回答	4
	計	45



講演の内容について

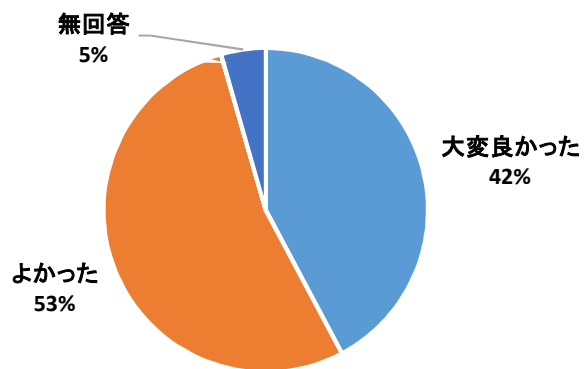
問3	大変良かった	18
	よかった	25
	あまりよくなかった	1
	よくなかった	0
	無回答	1
	計	45



- ★ 事業所内のヒヤリハットばかり注意していたが、利用者の情報提供など見落としていたなどもヒヤリハットになることに改めて気付いた。

グループワークについて

問4	大変良かった	19
	よかった	24
	あまりよくなかった	0
	よくなかった	0
	無回答	2
	計	45

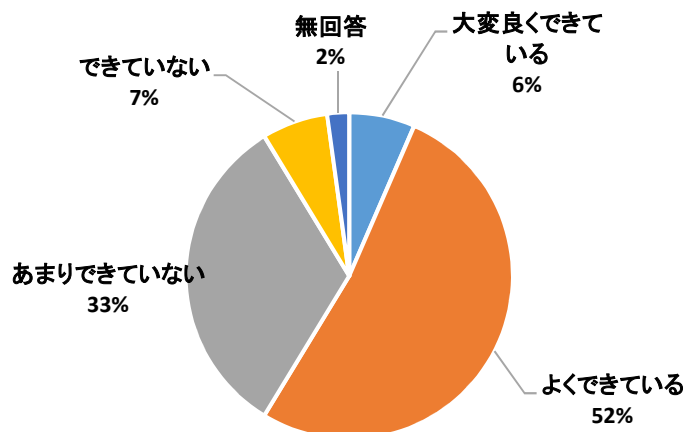


グループワークについての意見

- ★ 神谷先生の司会がとても上手です。素晴らしい。
- ★ 在宅での責任の所在についてとても興味深かったです。基本、在宅は本人・家族が主体です。なので本人家族がどの程度自分たちの余生に責任を持っているかが大切だと思います。
- ★ 24時間サービスで埋められないので、空白の時間は本人・家族の責任だと思います。
- ★ もちろん本人の状況を連携して、情報共有することは大切です。
- ★ ディスカッションのやり方良かったです。ファシリテーターの先生は大変だと思いますが、さすがですね。
- ★ 考え方のズレや視点の違いが良く分かって良かった。

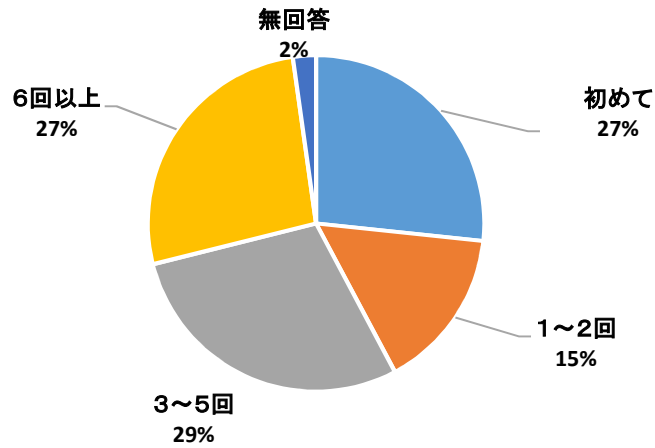
現在多職種連携はできているか？

問5	大変良くできている	3
	よくできている	24
	あまりできていない	15
	できていない	3
	無回答	1
	計	46



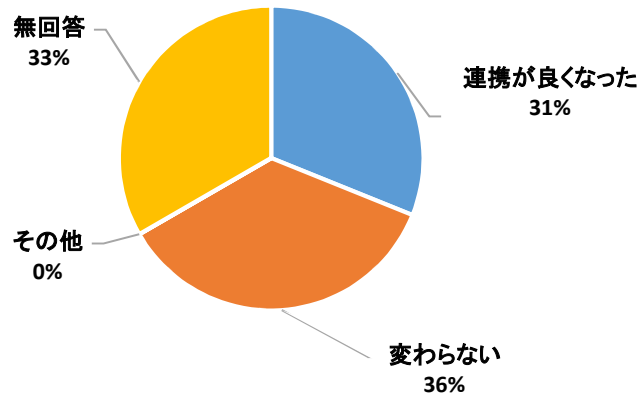
多職種連携研修会への参加回数

問6	初めて	12
	1～2回	7
	3～5回	13
	6回以上	12
	無回答	1
	計	45



研修を受ける前後で連携は変わったか

問7	連携が良くなった	14
	変わらない	16
	その他	0
	無回答	15
	計	45



理由について

連携が良くなったと回答した方の理由

- ★ 他職種の仕事・役割がわかり相談しやすくなった。
- ★ 顔の見える関係が気付いている
- ★ 介護保険上の関係で、多職種は医療系に分けられていることで、連携の範囲が限られている。
- ★ 各職種が迷いながら仕事をしていることを知ったので、連絡・連携することの頼もしさ・良さを知ったから
- ★ 特に参加して下さっている医師の方々とは、以前よりは連携を取りやすくなりました。
- ★ まだまだ関わりをもつことにこだわる先生も多いですが・・・
- ★ 顔の見える関係ができると連携が取りやすくなることはいつも感じます。
- ★ 顔の見える関係づくりには大切なのでとても有効です。病院開催は介護関係者だけでなく、医療関係者が多く参加されるので、重要な機会ととらえています。
- ★ 施設で働いているため、多職種の人たちとの関わりが決まっているため。今後の関わり方は考えていきたい。
- ★ 常に事業者間では情報共有できていると思う。情報共有しないと在宅で過ごす方は支援はできないです。ケアマネが情報の要と思ってます。
- ★ 顔見知り、名刺交換を行ったので。
- ★ 顔と名前がわかる。話したことがあるというのは大変大きいと思います。

今後、多職種連携研修会で取り上げてほしいテーマ

- ★ インフルエンザが流行っていましたが、感染症について気が付いていない事、予防方法などを教えてほしい。
- ★ 在宅介護での本人・家族の役割。
- ★ いかに予防医療に力を入れていくか。
- ★ 名刺交換する接点もなく、切っ掛けも作り辛い。会が始まる前、始まった直後に名刺交換会ができるの良いのでは？
- ★ 介護が行政の中で変わりすぎる中、ビジョンをどのようにもち、向上心を持って仕事にあたってもらえるか。